

第34回 性の問題を考える会

<主催者より>教師の生徒へのわいせつ事件のニュースが後を絶ちませんが、池谷孝司さんの『スクールセクハラ』を読んで、子どもに関わる職業に就く誰もが陥る可能性のある問題のような気がして鳥肌が立ちました。今回、池谷さんのご紹介でこの問題に長年取り組まれている NPO 法人スクールセクシャルハラスメント防止全国ネットワーク (SSHP) の亀井明子さんをお招きしてワークショップを開催することにしました。また、午前の部には、名古屋市児童養護施設愛松学園の園長である浅野伸治さん、そして名古屋市中心児童相談所一時保護所なかよし委員会委員長の渡邊佐知子さんに、子どもたちの安心・安全を守るためにこれまで実施されてきたことについて講義をしていただきます。子どもにかかわる仕事に就かれている皆さんと、子どもたちを守るために「私たちに何ができるか」を話し合う機会になればと思っています。

日 時 2026 年 2 月 15 日 (日)
※午前の部 (10-12 時)、午後の部 (13-15 時) の 2 部制です。両方のご参加も可能です。

会 場 愛知県社会福祉会館 2 階 ボランティア室
〒461-0011 名古屋市東区白壁一丁目 50 番地

対 象 社会福祉施設職員、教師、その他子どもにかかわる職業の方

定 員 各部 60 名

参加費 無料

申込方法 下記 G o o g l e フォームからお申し込みください (2026 年 1 月 31 日まで。先着順です)
<https://forms.gle/QYpZzUp2aNXjrmr26>

午前の部 (10~12 時)

- ①「愛松学園での取り組み：子どもたちの安心安全なくらしのために」
講演者：浅野伸治氏 (愛松学園 園長)
- ②「一時保護所における安全・安心を保障する取り組み」
講演者：渡邊佐知子氏 (名古屋市中心児童相談所一時保護所なかよし委員会委員長)

午後の部 (13~15 時)

ワークショップ「話すことの大切さ、聴くことの大切さ」
講師：亀井明子氏 (NPO 法人スクールセクシャルハラスメント防止全国ネットワーク (SSHP))

<亀井氏より>スクールセクハラを知ることは講演型の一方通行のお話を聴くだけでは真の意味で理解することは難しいのではと考えてプログラムを作りました。それは参加者が自身で考えその場にいる人たちと話すことで、これまでに持っていた自身のセクハラ (性暴力) への意識の変換を図るというものです。例えば小児性愛者が加害者になると思われていることが普通の先生がやってしまうことが多いということを認識していくようにたくさんの意見や考えを話し合ってもらいこの問題の共通認識を図ることを目的としています。性の問題は語られにくいと言われますが共通認識することで誰かに話してもいいと思ってもらうことも大切なのです。

共催：医療法人アンの会 楓の丘こどもと女性のクリニック／性の問題を考える会